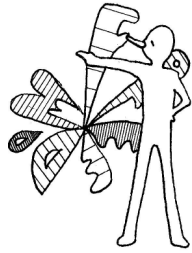


Freedom



高校生の人権広報誌

“Freedom” 第12号

2013年 3月29日発行

編集 “Freedom” (フリーダム) 編集スタッフ

発行 奈良県高等学校人権教育研究会

毎月11日は「人権を確かめあう日」

東日本大震災、豪雨による水害により被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。

特別支援学校生と、高校生などとの交流は、多くの学校やサークル活動などで取り組まれています。地域や学校で、いろんな個性の人たちが出会うこと、一緒に楽しむこと、学びあうことで交流の輪が広がり、お互いに支え合う社会になればいいなあと思いませんか？



高田高校との交流〜群鳩祭に参加して〜

ぐんきょうさい

奈良県立 高等養護学校

今日は生徒会役員と三年生全員で

高田高校との交流（群鳩祭）に行きま

した。祭りの前には、高等養護・高田

高校の会長・副会長がいさつをし

した。高田高校の生徒は多く、一年は

九組までありました。沢山の出店（模

擬店）があり、学校の中には美術の作

品、ゲームコーナー、ピタゴラスイ

チ（※注）などの展示がありました。

どれもとても迫力があり、お客さまへ

の接客も上手くてみんな威勢の良い声

で、僕もすぐに買いたくなるような気

持ちがわいてきました。今度の高等養

護の若杉祭の参考にもなりました。出

店をまわっているうちに、接客の呼び

込みを聞くだけでエネルギーがわき出

てきて気持ち良かったです。「へい！

いらっしやい！」でエネルギーがわか

きました。

今日は群鳩祭で楽しみながら、高田

高校の人たちと交流が出来て良かった

です。 【三年】

今回、群鳩祭に初めて参加してとて

も楽しかったです。いろんな模擬店が

あってとてもぎやかでした。たこ焼

きやからあげなどとても美味しかった

です。他に印象に残ったのは文芸部の

イラスト集や小説のことです。一つ一

つが個性的でとても良かったです。そ

して一番印象に残ったのが有志の方々

によるパフォーマンスです。ダンスを

したり、バンドをしたり、歌を歌った

りとすごく良かったです。そして群鳩

祭のスローガン「最幸に笑え、最校で

ハジける」に共感しました。高田高校

の校風を知れて良かったです。 【二年】

各クラスやクラブの展示をクラス

別に案内してもらいました。ゲームや

錯覚アートにストラックアウトなど沢

山ありました。なかでも一番記憶に残

っているのは、ペットボトルで作った

スカイツリーと部活動の出し物で文芸

部が良かったです。いろんな展示や出

し物があり、みんなで楽しく回しまし

た。楽しい交流会になり、とても良か

ったです。

高田高校のみなさんも悩んで練習も

たくさんしてきたと思います。僕たち

も負けないように、高等養護の若杉祭

をがんばりたいと思います。 【三年】

群鳩祭の感想は、楽しかったです。

高等養護と違って生徒が多いので圧倒

的なぎやかさでした。そして去年と

違う緊張もありました。体育館の舞台

の上で発表をしたことです。体育館の

広さや生徒の人数

もすごいので、目

の前は大海原で、

一斉に注目を浴び

たので怖かったです。

でもこういう

経験もできたので良かったです。

そして、ご飯もおいしかったです。

特にどら焼きアイスがおいしかった

です。

去年も行きましたが、やっぱりず

ごくにぎやかでした。見るのも楽し



書道部によるパフォーマンス

今年も行きましたが、やっぱりず

ごくにぎやかでした。見るのも楽し

かったです。行くのも楽しかった

です。 【三年】

今日は生徒会役員と三年生全員と

三年生の先生と一緒に電車に乗って

高田高校群鳩祭交流会に行きました。

三年四組のクラスのみならずH先生

とY先生と一緒に展示とステージ鑑

賞と模擬店と作品を見ました。天文

部とヒューマンライツクラブと文芸

部と写真部とモザイクアートと家庭

科クラブと美術部の作品をいろいろ

見ました。印象に残ったのは、イラ

スト絵と自由研究と写真と服が上手

です。とても作品でした。そして、輪

投げゲームと番号ゲームをして、一

個当たったのであめをもらいました。

それから体育館に行って、ステー

ジ発表のダンスを見ました。ダンス

は、ミニモニ。とハートキャッチプ

リキュアと少女時代（Gee）でし

た。踊りのパフォーマンスが上手で

すごい最高のダンスでした。格好良

かったです。

昼は、模擬店でわらび餅とそばめ

しと冷凍パイをチケットで買って

涼しい所で食べました。少しだけフ

ライドポテトとサーターアンドギー

（沖縄の揚げ菓子）も食べました。

とても美味しかったです。高田高校

群鳩祭は、楽しい一日でした。

【二年】

※注 ピタゴラスイッチ（の展示）

NHK教育テレビの番組「ピタゴ

ラスイッチ」で登場する全自動の

からくり装置をモチーフに、高田

高校生が自作した装置の展示。



高田高校生より……

高等養護学校との交流

昨年九月七日・八日に行われた群

鳩祭に、高等養護学校から先生方、

三年生や生徒会の生徒たち、あわせ

て六二名が来てくださいました。展

示作品や模擬店を見た高等養護学校

の生徒たちからは、

「学校中が活気に溢れていて、こっ

ちまで元気になった！」

「色んな食べ物があっておいしかっ

た！」

といった声もいただきました。

高等養護学校から展示に出してい

ただいた作品である、色とりどりに

輝くステンドグラスや、今にも動き

だしそうな迫力のある動物のフィギ

ユアからは、本当に一生懸命作ったことが伝わってきました。

そして十月二十八日、今度は生徒会吹奏楽部、一年生の総合学習「探究」の「福祉と共生」選択者で、高等養護学校の《若杉祭》を見学させてもらいました。学校に着いた時に僕たちを見た生徒たちが、「ようこそ！」などと歓迎の言葉をかけてくれたのが嬉しかったです。体育館での挨拶をしたあと、そのまま二年生のステージ発表を見させていただきました。ステージ発表された「泣いた赤オニ 四八」という作品では、二年生四人が一人一人協力して扉など道具も作りあげていたことに驚きました。

それから体育館を出て、模擬店や展示などを回らせてもらいました。農作物の販売など高田高校の文化祭には無いものもあり、とても新鮮で参考になりました。様々なミニゲームのコーナーもあり、童心に返って遊べそうでも面白そうでした。

高等養護学校と高田高校。この二つの文化祭にはお互いに無い要素もあり、お互いに貴重な体験になったと思います。これからもこのような交流を続けていきたいです。

(高田高校 生徒会長)

※本誌記事中の年月日の表記および生徒の学年は、すべて執筆された当時のものです。



★三月に卒業したメンバーからのメッセージです！

高解研活動に参加して

私は、一年生から人権クラブに入り、高解研活動にも参加しました。研修・交流会では点を学んだり、チャプチェを作ったり、うどん打ち体験などをして、他校の生徒と交流することができました。昨年度の夏期研修会では、南京町で異文化と触れ合うことができたり、「人と防災 未来センター」では地震についての恐ろしさを体験したりしました。そこで、文化祭では「防災」についての展示を行い、校内の生徒にも防災と命の大切さなどを呼びかけました。今年度は「琵琶湖博物館」に行つて、人と暮らし、環境問題、原子力発電のことなど、今まで考えたことがなかったことを学習することが出来ました。

学校での活動は、プルタブを回収して

桜井市に車椅子一台を寄贈したり、ペトロボトルのキャップを集めて、発展途上国の子供たちにワクチンを送る活動も行っています。それ以外にも、東日本大震災の被災者の人たちに少しでも力になればと思い、復興募金活動をしたり、紀伊半島大水害で大きな被害を受けた十津川での『道普請』にも参加したりしました。

私は、この三年間でいろいろな体験をしたり、たくさんの人と出会うことができました。この経験は、私を大きく成長させてくれました。社会に出て、何かの役に立てればと思っています。みなさんも各校での取り組みを活性化し、高解研活動にも参加してみませんか。

三年間、様々な活動に参加できて本当に良かったです。ありがとうございました。
(奈良情報商業高校 大原安利)

【コラム】 いじめへのイジメ

2012年に発覚した滋賀県大津市の中学2年生の男子生徒のいじめ自殺事件…この事件は、今なお多くの波紋を呼び、注目を集めています。本校で夏期休業の課題として出された人権作文では、約8割の生徒が「いじめ問題」を題材にしました。

2011年10月、同級生からのいじめを苦に当時中学2年生の男子生徒が自殺し、昨年報道やインターネットを通じて波紋が広がりました。この事件はマスコミ各社でセンセーショナルに報道されました。そんな中、いじめ「加害者」の個人情報インターネットに流出し、加害者への中傷が今なお行われています。加害者が行いたいじめ行為は決して許されません。加害者に対する怒りは誰もが感じていると思います。しかし、その怒りをインターネット上での中傷という方法でぶつけるのは、「いじめ」と変わらぬ卑劣な行為です。これもまた一種の「いじめ」です。このような事があるからこそ、「いじめの連鎖」が続くのではないのでしょうか？

この半年で多くの方が「いじめ」について深く考えたと思います。しかし、いじめの件数は余り減少していないように感じます。今一度、何が「いじめ」なのか一人一人が考える必要があると思います。

(添上高校解放研部長 3年 藤原 凌)

人権と向き合った一年

昨年四月から、私は添上高校の解放研部長として様々な人権問題に取り組む、その中でも犯罪被害者の人権問題について深く学びました。私は犯罪被害者の会の集会(※)に参加する等してこの問題への理解を深め、犯罪被害者の過酷(かこく)な現状を知りました。犯罪被害者の多くは直接的な犯罪の他に、個人情報流出や第三者による誹謗(ひぼう)中傷等の「二次的被害」に苦しめられています。しかし、そんな中で「犯罪被害者等基本法」が成立し、被害者が法廷(ほうてい)で意見を述べられる「被害者参加制度」等の法整備が行われました。とはいえ、それは不十分で課題がまだまだ残されています。

私はこの現実を学び、一人一人がこの問題と向き合う事でこの現状を改善出来ると思いました。私は大学で犯罪心理学を専攻し、これからもこの問題に取り組んでいこうと思っています。
(添上高校 藤原 凌)

- (※)二〇一二年十月二十日 犯罪被害者の会「あすの会」集会
- 二〇一二年十月二十八日 少年犯罪被害当事者の会「W11」

高解研 研修・交流会 参加体験記

二月三日、桜井市中央公民館で高解研の第二回研修・交流会が開催されました。

この日の研修には二十八人の高校生が参加し、「協働」をテーマに「うどん打ち体験とグループワーク」が行われました。



うどんを打つのは思ったより難しく苦戦しましたが、どこの班も協力し合いながら作業を行い、何とか成功させることが出来ました。班によって、作ったうどんに、打ち方や切り方で特徴があり、具材を自分たちで考えて買い出しに行きました。他の班のうどんを食べたりして予定時間を越えましたが、皆で楽しめました。

自分は三月で卒業するため、最後の研修・交流会になりましたが、とても有意義な一日でした。
(添上高校スタッフ)

※「高解研」は奈良県高等学校解放研等連絡会議の略称です。

高校生の人権広報誌

“Freedom” 第12号 (2013年3月29日発行)
編集 “Freedom” (フリーダム) 編集スタッフ
発行 奈良県高等学校人権教育研究会
〒630-8133 奈良市大安寺1-23-1
奈良県人権センター内
TEL 0742 (62) 5555 FAX 0742 (62) 5568
E-mail kodokyo@kcn.ne.jp
HP http://www1.kcn.ne.jp/~kodokyo/

※ご意見・ご感想や投稿などは、各校人権教育担当の先生または上記までお寄せください。編集スタッフも募集中です。
※本誌のバックナンバーは、高人教ホームページの「活動報告」にて閲覧できます。(「高人教」で検索してください)
※本誌の発行は奈良県教育委員会の事業委託を受けています。